

## 第5回 史跡取掛西貝塚保存活用計画策定委員会 会議録

1. 開催日時 令和5年3月20日（月）午後2時00分から5時00分まで

2. 開催場所 海神公民館第1・2集会室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

阿部委員長、米田委員、秋山委員、朝倉委員、野田委員、小川委員、今井委員

#### (2) 事務局

松田文化課長、金子郷土資料館長、白井文化課長補佐、高橋埋蔵文化財調査事務所長、小中文化財保護係長、小林調査班長、白崎副主査、早坂主任主事、林主事

4. 欠席者 樋泉副委員長、押田委員、田中委員、  
オブザーバー 千葉県教育庁文化財課 松浦文化財主事

### 5. 議題及び公開・非公開の別

- (1) 保存活用計画書の内容検討（公開）
- (2) その他（公開）

### 6. 傍聴者数

0人

### 7. 決定事項

- ・事務局が作成した保存活用計画書の素案をもとに、委員より質疑及び意見交換を行った。

### 8. 議事

開会（14時00分）

#### (1) 事務局説明

本日は、樋泉副委員長、押田委員、田中委員、千葉県教育庁文化財課 松浦文化財主事が欠席である旨、説明があった。

#### (2) 会議の公開、傍聴者について

事務局より、本日の会議が公開であること、傍聴者が0名であることについて報告があった。

#### (3) 議事1 保存活用計画書の内容検討

事務局から説明を行い、質疑および意見交換を行った。

事務局：

## 活用の方向性（文章）について

**米田委員：**国史跡についての説明は、重要性の説明のなかで記述するように構成を修正した方がよい。また、「船橋市ではじめての史跡」を明示し、さらに次の世代に向けて遺跡を保存することと、それを活用することが目的であることを明示すべき。ポイントとして、歴史的な価値だけでなく、例えば三番瀬との関わりなど、船橋の現在と結びついているということを書くと、より身近に感じることができる。

**野田委員：**活用の方向性について史跡の場所をどうするのかについて、少し抽象的なように思う。計画ではもっと具体的に書かないものなのか。

**阿部委員長：**計画のなかで具体的に記述するのか、方向性にとどめるのか2つのやり方が考えられる。前回の議論では、地権者の同意も得られていないなかで、あまり明確な形で何かをつくるということは書ききれないのではないかという議論があった。

**米田委員：**これだと活用するときに具体的にどのような方向にいくのか分からない。本文に「まちづくりとしての遺跡の整備を進める」という記述があり、かなり具体性があると思うので、このように書くのであれば、そのまま書くのがよいのでは。

**事務局：**60～70年とかなり先の話になるかもしれないが、計画の中でイメージ案を示したいと考えている。長期目標として、公園整備の形を多少ともイメージし、ゾーン分けとその外に施設というような示し方ができればと考えている。

**阿部委員長：**そうであれば、このプリントにそのような記述を入れても齟齬はないのではないかと。そうすれば、地権者に説明する時も、ここまでのイメージをしっかりと伝えて、それから活用となり、すっきりすると思う。

**米田委員：**まず、遺跡の重要性をきちんと評価し、それを伝える努力をはじめ。第二段階で具体的に活用する場所としての整備を計画していくという説明があると、地元もイメージができ、今すぐ何か変わるわけではないということが伝わる。全体の方針とスケジュール感を示した方がよい。

**秋山委員：**何のために「活かす」のか。ゾーン分けというのは、もっとずっと先の話で、地域の需要をどうやってつけるのか、滞在してもらうにはどうするか、そのような方法がある場合があるので、いい悪いではなく、「観光化」という視点はどうかということをもう少し、書いた方がよい。

東京湾岸部での重要性と船橋市での重症性の説明が、いまひとつ分からない。もっと具体的に分かりやすく書いた方がよい。

**阿部委員長：**千葉市が縄文中期から後期中心であるのに対して、船橋はもっと古い早期からずっと貝塚を通じて歴史をたどることができることを強調すればよいのではないかと。

**米田委員：**まず、東京湾の貝塚群の重要性を説明しないといけない。縄文時代の理解のうえで貝塚という遺跡が非常に重要であって、その一番の集中地帯が東京湾。縄文文化の理解に非常に重要な鍵となる地域で、その中で幅広い時間を伝えることができるのが船橋の特徴。貝塚は、生活を読み解くには、普通の遺跡に比べ、情報量が格段に多い。船橋は、非常に長い時間軸でそのような研究ができるまたとないばしょなんだということを伝える。

**阿部委員長：**2の冒頭にそれをつければよいのでは。日本に2700くらいの貝塚があって、そのうち3分の1くらいが東京湾に集中し、その中でも船橋は1万年前から3千年前まで貝塚を通して歴史を勉強できる。

**秋山委員：**船橋市での重要性はどこにあるのか。

**事務局**：船橋は、過去から現在まで長い間、海との関わりがあり、その一番最初が取掛西貝塚であるところに市での重要性があると思っている。過去から現在まで残っている。

**阿部委員長**：今とつながっているというところが重要である。

**秋山委員**：一般の人に説明する時には、過去から現在と時間軸に沿って説明するのではなく、現在、過去、未来の順で説明すると意外と分かってもらえることがあったので、そのような説明をした方がうまく伝わると思う。

**米田委員**：市政の柱として海との関わりが明確に紐づけられると良い。船橋市総合計画「いきいきとしてふれあいの都市ふなばし」の中に「海を活かしたまちづくり」がうたわれていて、それを踏まえてこの遺跡を活用していくという方向性ができるのではないかと。

**朝倉委員**：「活用」ではなく、「保存活用」とした方が良い。保存をして、過去のをきちんと将来に継承していくんだということを書いたうえで、活用があった方が良い。まず、なぜ、保存をするのかということを書いた方が良い。

**秋山委員**：自分もそう思う。公園にするといえば、みなさん良いと思うのだが、遺跡として活用することが重要。公園とってしまえば、管理のための道路を造るとか、公園の発想になってしまいがちで、本来の遺跡の活用にならない。魅力ある遺跡をどうするのかを考えた方が良い。

**米田委員**：2の遺跡の重要性というところがなぜ、保存しなければならないのかという説明となる。そしてそれを踏まえて、さらに活用するにはどうするかとなる。確かに指定されたから保存活用しますというところが抜けている。

**阿部委員長**：その部分を追加修正してください。

**米田委員**：このプリントを一般の方や中学生、小学生に向けたバージョンを用意し、発信していくと良いと思う。

#### 骨子案について

**野田委員**：スケジュール感とゾーニングはセットで示した方が良いと思う。これが何十年後の姿ですといったスケジュール感が明確となれば、地元の安心材料が増えると思う。

**朝倉委員**：長期というのはどれくらいのスパンなのか。

**事務局**：ここで示す最終的なイメージは、50年、60年といった長期スパンでのデザインの一つと考えている。

**秋山委員**：公有地化の状況を踏まえると、まず短期5年間は公有地化されているところで何ができるか考えると良い。

**阿部委員長**：短期・中期・長期スパンの議論をしているが、やりはじめが重要だ。規模が小さくとも、遺跡の価値を市民に感じてもらえるような取組とそれに必要な施設を意見として出して、実現可能なものからやっていくという形にしないとなかなか進まない。短期的な活用では分室が重要なキーとなる。

**秋山委員**：地域の人たちが使える施設にしていくとよい。そこに集まれることによって新しいコミュニティが生まれる。時間はかかるが、どういった史跡にしていくか皆さんとじっくり考えていくことができる点はプラスとなる。

**小川委員**：農家としては、遺跡の保存で深く掘れないといった制約があり、不満・不安がある。現状維持は農家にとっては現状維持ではない。曖昧なままより、買い取るといった方向性が示された方が良い。

**阿部委員長**：近くに学校もあるので、学校教育の中で遺跡を活用するという流れを作ると良い。

その子供たちが育って次の世代をつくっていくことができる。長期的な展望がみえてくると、子供たちが使うのであればよいとってもらえることがある。

**米田委員：**まず、市の将来構想や第2次文化振興基本方針など、関連するそれぞれの計画と目的とそこでの記述、文化課としてどうしていきたいのかを明確に説明いただければ、専門の立場から助言できる。船橋市民の役に立つように考えた方針の中で、遺跡をどのように位置づけて活用するのか説明するとやりやすくなると思う。

**阿部委員長：**15ページの一番上の枠の中で問題点はあるのか。保存活用するにあたって、注意する必要があることはなにか。

**米田委員：**各計画との対応関係を事務局で整理し、この枠組みの中でこういう方針でこういうことをやるということの説明があれば、議論ができる。

**阿部委員長：**「海とふなばし」はどこにどのように関わってくるのか。

**事務局：**総合計画と関連計画の都市計画マスタープランに記述があるように思う。

**秋山委員：**国の文化財の政策との関わりが示されていない。観光化とか国の文化財政策の動きの影響があるのではないか。

**阿部委員長：**将来構想で周辺に建物等を作る計画はあるか。

**事務局：**近隣にガイダンス施設や駐車場を設けることを考えている。

**阿部委員長：**ガイダンス施設にするのか、博物館にするのか、埋蔵文化財センターにするのか。

市の埋蔵文化財の構想はどうか。活用計画では、船橋の海と人々の関わり全体を捉えていこうというのだから、日々の発掘調査で増えた出土資料の活用を考えないとまずいと思う。

**事務局：**アクセスしやすい資料の管理等を含め、出土資料の活用を計画の中に盛り込みたい。中長期的には史跡の外に施設をと考えている。それが総合博物館という形にしていくとか、そういうイメージでできると良いと思っている。

**阿部委員長：**総合博物館という計画があったのなら、それを将来構想に入れてみてはどうか。将来的にそういう施設をつくるという中で、今ある狭い施設をどう有効活用するのかという話となるのではないか。

**事務局：**中期目標として、公有地できたところから、今持っているものをどう活用していくのかというイメージで、中期目標に向かっていく動きとして5年、10年と考えている。ここに地域の学校とかが組み込まれていく活用ができれば良い。

**阿部委員長：**中長期計画の中に整備計画をもう少し具体化したものを示して、地元の人に丁寧な説明をしていくことが必要だろう。

#### 第4回の議論への対応について

**秋山委員：**発掘調査や研究について何もないようだが。

**事務局：**骨子案の「2. 活用（7）新たな価値づけと還元」に「継続的な調査研究」と「アクセス環境を整え、学術連携を進める」と書いている。

**秋山委員：**一般の人がみたときに、研究は活用に入るのか。

**米田委員：**学術的な資源の活用という点では、活用としても良いように思う。「課題がたくさん指摘されている」という表現はやめた方が良い。

**事務局：**学術研究に活用してもらい、その結果がさらなる遺跡の再発見という意味で継続研究と考えている。整備や学術的課題解決のための発掘調査はあると思う。

**秋山委員：**ここでいう継続研究は単なる活用ではないのでは。遺跡として研究していくという軸

があまり感じられない。

**米田委員：**目次にある「継続的な研究の実施」が骨子案にない。それで秋山委員は後ろ向きに捉えた。基本的に目次と骨子案は一致させるはずなので、抜けがないかチェックする必要がある。その点を修正いただきたい。

**朝倉委員：**環境教育での学校への働きかけ方が先行事例として参考になる。同じように「ふるさと船橋」教育という軸で、遺跡教育といったものに取り組むように学校に働きかけをして広げていくのが良いのでは。

**米田委員・阿部委員長：**骨子案は短期・中期・長期がごっちゃになっているので、整理した方がよい。時間を区切って議論すべきだ。

**朝倉委員：**市民参加について、取掛西貝塚には市民グループはない。そこでネットワーク化、組織化・連携化を図っていく。そのために何が必要かという議論になっている。ただ学んだ方はなかなかその先のイメージを持っていない。そこでもっと戦略的に講座をつくる。いきなり箱ものではなく、空き教室利用なので町中博物館みたいなことをする。そこで市民大学などで学んだ人が展示の説明に加わる。そこを使って、ネットワーク化を図って最終的に総合博物館というようにしていかないとなかなか進んでいかない。拠点がないと学んだ人が何かをしていくというイメージにつながらない。段階的なロードマップを作っていくことが大事だと思う。

**事務局：**公民館や図書館を含めたネットワーク化はまさに町全体での展示のようなイメージ。今は受け身の講座などだが、そこから市民参加型の活用となり、現地美化活動や中期目標での現地活用で市民の理解が進み、市民グループをつくって協働できればと思う。

**阿部委員長：**今の話では、取掛西貝塚からのイメージが強いが、「海とふなばし」という共通のキャッチフレーズなので、むしろ逆からのアプローチがあってもよいのではないか。例えば、市場から取掛西貝塚に行くみたいな動きがあってもよい。考古学だけでなく、色々な人を巻き込んでいくとよい。

**米田委員：**骨子と目次がまだ整合性が不十分（特に6・8・9章）。そこを整理し、文化課で決められることを短期、教育委員会で中期、市のグランドプランで30年先とかの長期目標を整理するとよいのでは。そういう方針でこの骨子を厳密化するとよい。

- ・(朝倉委員) 体制づくりについて、庁内調整と市民・事業者連携と外部の研究機関・研究組織との連携というように、テーマを決めずに主体別に整理するとよいのではないかと。

## 9. 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部文化課 文化財保護係 047-436-2887